

大牟田市民の宝（宝物100選）三池島のベニアジサシを守ろう

三池島の保全を考える シンポジウム 案内

三池島は、我が国におけるベニアジサシの北限の繁殖地で、毎年数百羽が、遠くオーストラリアから飛来しています。

この三池島を、三井鉱山が大牟田市に無償譲渡する申し入れについては、マスコミ等でも報道されたところですが、将来の補修費が懸念されることから、大牟田市はまだ無償譲渡の受け入れを決定しておりません。

そこで、三池島のことをもっと大牟田市民の方々に知っていただき、一緒にその保全について考えようと、（財）日本野鳥の会、日本野鳥の会筑後支部及び熊本県支部とで「三池島の保全を考える シンポジウム」を企画しました。多くの皆さんの参加をお願いいたします。

日 時： 平成19年9月2日（日） 13:30～16:00 受付：13:00～

場 所： 大牟田市エコサルクセンター（市民・交流学習センター）

〒836-0011 大牟田市健老町461 TEL 0944-41-2735

【アクセス】 西鉄新栄町駅より車で約5分

JR大牟田駅より車で約10分

九州自動車道南関ICより車で約20分

（公共交通機関の便はありません。）

1、講演

- ①ベニアジサシについて : 日本野鳥の会自然保護室長 小南幸弘
- ②三池島のベニアジサシについて : 山階鳥類研究所標識調査員 田中忠
(日本野鳥の会熊本県支部 副支部長)
- : 日本野鳥の会熊本県支部幹事 安尾征三郎
- ③三池島の現状と保全について : 日本野鳥の会筑後支部副支部長 永江和彦

2、意見交換会：皆で考えよう三池島の保全

主催：（財）日本野鳥の会

日本野鳥の会筑後支部

日本野鳥の会熊本県支部